



増刊号

同期会報告

(高校35回)

幹事代表B組 木村 徹

卒業してまだ三年の私達ですが、クラス会だけでなく「同期のみんな」で一語に顔を合わせてみたいね」と、有志二十数名が集まり、母校の会議室で幹事会を開きました。クラス会とはちがひ規模が大きいために、連絡や日時、会場、金銭面、参加人数等、様々な問題がありました。...

そして昭和六十年十二月二十九日(日)実際に開いてみると、六名の先生を迎え、同期生百四十一名の参加があり、会は終始盛況のうちを終えることができました。三年ぶりでも人は変わるもので、よく成長し、はじめは誰だかわからない人もいたくらいでしたが、だんだん武蔵時代の自分に戻り、なつかしい思い出話に花を咲かせていました。何年かおきにこうして同期会を開いて、心も身体もまだ未熟で共に励ましあひながら成長した武蔵時代の仲間との交流を深め、いつまでも友情をあたためてゆきたいと思ひます。次回には今回参加できなかった人も含め、より多くの人達が集まることを期待しています。

クラス会に出席して

平野 令子

目の前の電話の傍に、小さなアルバムが一冊立てかけてあります。疲れた時、所在なげな時、そっとあけると懐かしい顔が笑つたり話して

たりしています。昨年一月のクラス会から、もう一年が過ぎようとしています。本日に月日の経つのは早いものです。急な招集にも拘わらず、二十名が新宿に集まりました。内藤彦四郎先生も、とてもお元気でした。現在は、都立豊島高校で教壇に立つて居られます。私達の頃は三年間クラス替えがなく、担任の先生もそのままあがりの方式でしたので、特に印象に残っているところで、五十三人全ての生徒を憶えていてくださいました。

私達も密度の濃い三年間に思い出を共にし、生涯に亘つての友人を得る事が出来て、本当に幸せだと思ひます。住む地域や境遇が違つても、会えばすぐに昔の顔になつて了つて高校生時代の口調そのまま、とても賑やかです。村山貯水池までのハイキング、校庭に帰つて来て、夕やみ迫る草原に全員で倒れ込んだ事。文化祭の後の夜空を焦がすファイアーストーム、赤く照らし出される友達笑顔。又、運動会でアイヌの扮

装をしいヤイヤ顔にイレズミを描き、奇妙なアイヌ踊りをして一等賞になつたこと、など今も鮮やかに目に浮びます。会わないでいても思ひ出は懐かしく、折にふれて聴りますが、会えばもつと増幅されて胸一杯にひろがり、身も心もぼつと暖められる思ひです。昔の事、今の事、時の経つのを忘れて話に花が咲き、又の再会を約し、散会しました。この紙面をお借りして、海外に出ている人、病氣入院中の人、都

61年度 大学合格者数集計(仮)

(昭和62・4・8現在 進路部)

Table with columns for University Name, Type (Public/Private), Current Role, and Number of Graduates. It lists various universities like北海道大, 東北大, etc., and their corresponding graduate counts.



「新人期待」

井上 有紀子

年間九千円でバレエ鑑賞しませんか。武蔵の五十八年三月の卒業生で、バレリーナとして活躍している人がいます。スターダンサーズバレエ団の小平浩子さんと、読売新聞の夕刊一面に掲載された若きホープです。ぜひ多くの方の応援をお願いします。問い合わせは、スターダンサーズバレエ団 ☎〇三四〇一〇二九三小平まで

同期会・クラス会の記事を沢山お寄せ頂き有難うございました。誌面の都合で「11G」と「35回」はそれぞれの幹事のご諒解を得て増刊号に載せさせて頂きました。今年度も、もつと多くの記事をお送り下さるようお願いいたします。なお、名簿の残部が沢山あります。まだの方はぜひお申し込み下さるようお願い致します。(事務局)